

第5章 環境を思い行動する人づくり

第1節 学校における環境教育の促進

1 学校における環境教育・学習

(1) 里山里海湖学校教育プログラム集【自然環境課】

小中学校教員が里山里海湖について、児童生徒を指導するためのプログラムを現場の先生方の意見を踏まえながら作成しました。

平成25年度には、小学校高学年対象の道徳読み物資料を2種類作成し、平成26年6月に県内全小学校に配布するとともに、里山里海湖研究所のホームページ上に、指導案や授業に役立つ資料も掲載しました。

また、平成26年度は、身近な里山里海湖を体験することにより保全の意識を高め、自主的な活動を促せるよう「三方五湖周辺体験活動プログラム」を作成し、全ての小中学校に配布しました。これにより、小中学校の教員が、「里山里海湖とは何か」、「里山里海湖でどんな活動ができるのか」を知ることができる手引書としての活用と「里山里海湖の恵み」を児童・生徒に実体験させることができると期待しています。



里山里海湖
学校教育プログラム
～三方五湖周辺体験～

さらに、平成27年度には、体験活動の場を広げるために「北潟湖周辺体験プログラム」、「六呂師高原周辺体験プログラム」を作成しています。それぞれの地域の特性を活かした体験活動を実施することで、より福井の里山里海湖の魅力を実感し、保全・再生の意識を向上させていけるものと考えています。

今後とも、系統立てた環境教育を推進できるよう、学校の年間指導計画に位置付けていけるよう努めていきます。

表5-1-1 三方五湖周辺体験実施校数（H27.12末現在）

	学校数	児童・生徒数
小学校	17校	577名
中学校	2校	153名
合計	19校	730名



体験学習の様子

(2) 環境・エネルギー教育支援事業

【義務教育課・高校教育課】

県内の小中学校・高等学校を対象に、地域の特色に応じた実践を通して、児童・生徒の理解を深め、自ら考え、判断し、よりよく環境・エネルギー問題を解決する力を育成することをねらいとした「環境・エネルギー教育支援事業」を推進しています。

平成24年度より、中学校理科に放射線等に関する内容が30年ぶりに復活したことを受け、放射線教育等の充実のため、簡易霧箱や放射線測定器等を購入し、授業を行いました。

また、平成27年度は、ソーラー発電や風力発電を学習する教材などを活用した環境・エネルギー教育を進めています。

高等学校では、平成26年度、県立高等学校全11校を対象に、学校の特色に応じた環境・エネルギー教育の取組みを支援する「環境・エネルギー教育支援事業」を実施しました。

今後も、各校の取組みを県内全体に広め、環境・エネルギー教育の一層の普及に努めていきます。

※事業対象 平成25年度：小中学校
平成26年度：県立高等学校
平成27年度：小中学校

表5-1-2 環境・エネルギー教育支援事業取組状況

	25年度	26年度	27年度
	小中学校	高等学校	小中学校
環境・エネルギー教育に関連する施設等の見学	2校	6校	1校
講師による講演や意見交換会での指導および助言	0校	6校	0校
エネルギー教育に関する資料・機材の活用方法の研究	89校	10校	38校